

丹波市生涯学習後期計画の策定内容について

近年、少子化による人口減少、急速な高齢化、人と人とのつながりの希薄化による社会的孤立拡大など様々な問題に直面しています。今後、人口減少の更なる進行や人生100年時代など更に大きな社会の変化が訪れようとしています。特に人生100年時代には、「高齢者から若者まで、すべての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要」があり、その重要な鍵を握るのは、生涯学習社会の実現にあると言われています。一人ひとりが学びを通じてその能力を維持向上し続けることができるよう、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域の活動に生かすことのできる「生涯学習社会」実現への取組みをより強固に進めていく必要があります。

一方で、地域における教育力の低下、家庭の孤立化などの課題や、学校を取り巻く問題の複雑化・困難化に対して、社会総がかりで対応することが求められており、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みが必要といわれています。

1 基本理念

『たんばにひろげる まなびの輪』

～豊かな資源を活かした生涯学習環境づくり～

2 めざす市民像（イメージ）

- ・ 生涯にわたって積極的に学び続け、活躍し続ける人。
- ・ 地域に関心を持ち、人と人のつながりを大切にしながら、地域課題に対し、地域の担い手として自発的に取り組む人。
- ・ 学習を通じて地域課題を自分ごととして捉え、他者と協働しながら持続可能な「まち」を創り出す人。

3 めざすまちの姿（イメージ）

- ・ 人口が減少しても、地域が活力を維持し、さらに発展していくよう、市民一人ひとりが活躍できる力を育むために主体的に学んでいる。
- ・ 市民が生涯にわたって主体的に学べる環境が整っている。
- ・ 生涯学習を通じて、お互いを理解し認め合うことで、つながる意識が生まれ、生き生きとした地域コミュニティが形成されている。
- ・ 高齢者から子どもまで、一人ひとりの個性と力が尊重され全ての市民が活躍している。
- ・ 社会的に困難な状況におかれたり、社会的に孤立したりしがちな市民等が多様な支え合い、助け合いを受けながら、学びを通じて地域社会へ参画している。
- ・ 若者が生まれ育ったまちに誇りを持ち、将来にわたり住み続けたいと思っている。
- ・ 人口が減少し、地域の担い手が減少する中においても、高齢者が、長い人生の中で得た知識や経験を活かし、地域社会の担い手として活躍している。
- ・ 未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支えている。

4 基本目標

- (1) まなび人を増やそう ~生涯学習に興味関心を持ち、取り組む、まなび人を増やそう~
- (2) まなび力を育てよう ~継続して学び、主体的に学びをつくる、まなび力を育てよう~
- (3) まなび里をつくろう ~地域の魅力に気づき、学びを生かすことのできる、まなびの里をつくろう~

5 計画の変更点

- (1) 第3章 基本構想 3. 施策の体系
- (2) 第4章 計画の推進

施策の体系図（骨子案）

まなび人を増やそう
まなび力を育てよう
まなび里をつくろう

1
まなび人を増やそう



赤字＝追加項目 青字＝拡充項目